

7 月例会

豊岡小学校の伊藤 隆先生に「読むことにおける『問いづくり』のポイントと、一斉・自由進度とそれぞれの良さを取り入れた授業」というテーマでご提案いただきました。物語文の問いづくりにおいては、「問いを出す」「問いを集める」「問いを絞る」の段階を経ることや、子どもが問いを絞るために与える観点についてお話をいただきました。また、説明文の問いづくりにおいては、「題名」や「筆者の意図」、「言葉の意味」に着目するとよいと教えていただきました。

その後、一斉授業と自由進度学習を併用した「ハイブリット型」の実践を紹介していただきました。一人ひとりの言葉の力を高めるには、自由進度学習で問いを追究することが効果的ではあるものの、身に付けさせたい言葉の力を確実に指導するために、一斉指導を取り入れながら実践されたそうです。改めて、目の前の子どもたちを丁寧に見取り、育てたい資質・能力を育成するために最適な方法を模索することの大切さを教えていただきました。振り返りのシェアタイムでは、「問いがうまく作れない児童への支援の在り方」や「低学年でできる問いづくりの方法」が話題になりました。

8月の例会は8月8日（金）にウインクあいちで行われる夏の半日研です。各課題研究部会が2学期以降の国語科の授業のヒントになること、主体的なことばの学び手の育成につながることを提案します。ぜひ、希望の分科会にご参加ください。

